

ほおづえ

第10号

目次

- 1 会長あいさつ
- 2 平成12年度総会報告
- 3 支部便り
- 6 会員短信
- 7 学内NEWS
- 8 ほおづえ会からのお知らせ

会長挨拶

会長 宮川 浩志（2期）

総会時には、お忙しい中、校長の松村先生、元校長の榎場先生をはじめ、諸先生方、また元教官の皆様にお集まりいただき、本当にありがとうございました。

ほおづえ会におきましては、平成6年の発足から6年が経ちました。その間本部を中心とし、支部におきましても活発な活動を続けてまいりました。しかし残念ながら現在のところまだ、中部、関西においては支部が成立しておりません。今後近年中に、この中部、関西支部の設立もあることかと思っておりますので、その際にはまた皆様のご協力をお願いいたします。

私としましては、野手前会長の後2年間、会長を務めさせて頂いたわけですが、至らぬところも多く、心苦しく思っています。そう思いながらも今後の運営方針等を思案してきたわけですが、同窓会をひとつの情報提供の場とし、石川高専建築学科OBによる、色々な活動を本部に連絡を頂き、会報等による報告を通じ、様々なつながりが広がっていくことを望んでおります。

当日は皆さまの協力で、本部、支部総会におきまして、多数の議案が順調に論議されましたことを、改めて感謝いたしまして挨拶に代えさせていただきたいと思っております。

平成12年度総会報告

平成12年8月13日(日)、午前11時～ 金沢全日空ホテルにて『ほおづえ会平成12年度総会』が行われました。会員23名、および特別会員7名の出席により、以下の議案について承認されました。

第1号議案 本部 平成11年度事業報告および収支決算報告

[事業報告]

会報「ほおづえ」第8号発行(12月1日) 会報「ほおづえ」第9号発行(6月25日)

[収支決算報告]

<収入の部>

会費(正会員) 3,000×229	687,000
会費(準会員) 1,000×166	166,000
会費(前年預り金) 3,000×5	15,000
会費(H10年度分) 3,000×3	9,000
預金利息	198
前年度繰越金	422,796
合計	1,299,994

<支出の部>

印刷費(会報2回)	340,200
通信費(総会案内・会報2回)	249,639
慶弔費	10,000
事業費(学校への援助)	150,000
支部支援費(北陸・関東)	300,000
事務費	39,513
次年度繰越金	210,642
合計	1,299,994

<資産>

郵便定額貯金	200,000
--------	---------

[監査報告]

監査の結果、上記収支決算は適正に収録され間違いなく支障を認めません。

平成12年8月11日

監査 寺嶋 清人(2期)

第2号議案 本部 会則改正 (下線部改正箇所)

(役員)

第9条 役員の任期は原則2年とする。ただし、再任を妨げない。

第3号議案 本部 役員改選

会長	宮川 浩志 (2期)	常任幹事	金子 哲也 (2期)
副会長	吉田 康弘 (2期)	常任幹事	本田 昌義 (3期)
副会長	山内 陸 (4期)	常任幹事	吉田 他起子 (8期)
副会長	水上 勝之 (8期)	常任幹事	石田 和彦 (10期)
事務局長	家山 真 (14期)	常任幹事	山岸 学 (16期)
会計	内田 伸 (20期)	顧問	野手 有二 (1期)
監査	寺嶋 清人 (2期)	顧問	河内 浩志 (教官)

第4号議案 本部 平成12年度事業計画および収支予算案

[事業計画]

会報「ほおづえ」第10号発行 会報「ほおづえ」第11号発行

会員名簿発行

[収支予算案]

<収入の部>

会費(正会員) 3,000×350	1,050,000
会費(準会員) 1,000×200	200,000
前年度繰越金	210,642
合計	1,460,642

<支出の部>

総会費	100,000
印刷費(名簿、会報2回)	600,000
通信費(総会案内・会報・名簿発送)	300,000
事業費(学校への援助等)	100,000
支部支援費(北陸・関東・中部・関西 各支部)	250,000
慶弔費	40,000
事務費	70,642
合計	1,460,642

北陸支部便り

1. 平成12年度北陸支部総会報告

平成12年8月13日(日)、午前11時～ 金沢全日空ホテルにて『ほおづえ会平成12年度北陸支部総会』が行われました。会員23名、および特別会員7名の出席により、以下の議案について承認されました。

第1号議案 北陸支部 平成11年度事業報告および収支決算報告

[事業報告]

懇親会バーベキュー [クロスランドおやべ・参加83名] (5月14日)

[収支決算報告]

<収入の部>

前年度繰越金	165,110
支部支援費	200,000
事業収入 (バーベキュー59,000円)	59,000
貯金利息	123
合計	424,233

<支出の部>

会議費 (委員会施設利用料)	3,660
通信費 (郵便・電話料)	47,340
事務費 (コピー代・事務用品)	17,183
事業費 (バーベキュー254,047円)	254,047
補助金 (全国高専シンポ・コンペ)	50,000
次年度繰越金	52,003
合計	424,233

[監査報告]

上記監査しましたところ、適正に処理されていると認められます。

平成12年8月10日

監査 谷保 学 (3期)

第2号議案 北陸支部 会則改正

(下線部改正箇所)

(役員)

第5条 役員の任期は原則2年とする。ただし、再任は妨げない。

第3号議案 北陸支部 役員改選

支部長	三谷 創 (7期)	運営委員	石村 聖一郎 (11期)
副支部長	越野 明 (9期)	運営委員	家山 真 (14期)
副支部長	横井 嘉邦 (10期)	運営委員	戸水 雅之 (14期)
事務局長	富樫 吉規 (20期)	運営委員	山岸 学 (16期)
運営委員	山口 孝芳 (1期)	運営委員	井本 光 (18期)
運営委員	藤坂 邦彦 (2期)	運営委員	坂井 志津江 (19期)
運営委員	加藤 明博 (3期)	運営委員	林 晃一郎 (20期)
運営委員	竹田 敏信 (3期)	運営委員	村田 一也 (20期)
運営委員	酒井 治 (4期)	運営委員	今崎 宮土里 (21期)
運営委員	谷崎 茂樹 (6期)	運営委員	坪野 小枝子 (21期)
運営委員	居島 正樹 (7期)	運営委員	前田 智代 (21期)
運営委員	松浦 弥 (7期)	監査	谷保 学 (3期)
顧問	河内 浩志 (教官)		

第4号議案 北陸支部 平成12年度事業計画および収支予算案

[事業計画]

平成12年9月 全国高専建築シンポ・コンペ 協力
10月 懇親会バーベキュー開催 加賀地区にて
11月 紀友祭 協力
平成13年5月 懇親会バーベキュー開催
ほか、見学会、同窓会と学生との交流の機会

[収支予算案]

<収入の部>

支部支援費	100,000
前年度繰越金	52,003
合計	152,003

<支出の部>

会議費（委員会施設利用料）	5,000
通信費（郵便・電話料）	50,000
事務費（コピー代等）	15,003
事業費	82,000
合計	152,003

新旧支部長挨拶

前支部長 山内 隆（4期）

2年間、支部長を務めさせていただいた山内です。

私はバーベキューや見学会、また総会などの活動を通じ、ここで多くの人たちとさまざまに関わることができました。そのようななかで、常日頃、会長としての役割というものを思索してきたわけですが、もちろん私自身、十分に満足のいくほどに、会長の役を務められたとは言えないかもしれません。しかしながら、私の前任の吉田会長から、この役を引き継ぎまして、次期会長の三谷君に会長をお渡しするにあたり、課題をお渡ししたい、と思います。

現在の本会の状況から鑑みますと、今後は7期以降の人たちの参加、参画を積極的に募り、また、20期生は何人かいますが、その前後がまだまだ層として薄いように思います。それで、そのあたりの環境を、是非とも整備していただきたい、そういうように思います。

そのような課題とともに、引継の言葉としたいと思います。

新支部長 三谷 創（7期）

ただいま、新任にあたり、早速、課題を頂いた、7期の三谷です。支部長に就任するにあたりまして、今後のことを考えたときに、まず、参加イベントの増加、現在、バーベキューや見学会などを企画しているのですが、これをもう少し活発にしていきたい、また、学校とのタイアップ、在校生の活動に対する支援、そして、メーリング・リストの作成、これは、通信費の節減等を考えてのことですが、メーリング・リストを作成していきたいと思っています。

さて、この会で支部長に着任し、今後、参加していくことは、織物を織り上げるようなものであるのではないかと考えています。織物というのは縦糸と横糸のバランス、縦糸を学年の上下の関係、横糸は同学年のつながり、このバランスがうまくとれてこそ、一つのまとまり、一枚の織物が織り上がっていくのではないかと、そういう風に思っていますので、みなさまのお助けをお借りしつつ、今後は、頑張っていきたいと思っていますので、フォローのほど、よろしくお願いいたします。

2. 見学会報告

現時点では有志による小規模の活動ですが、建物見学会を3回行いましたので、その報告をいたします。

6月17日 4名参加 富山国際会議場
富山県総合福祉会館
8月14日 8名参加 三方町縄文博物館
越前がにミュージアム
10月8日 4名参加 宮本三郎美術館



縄文博物館にて

関東支部便り

平成11年度 収支決算報告

[収支決算報告]

<収入の部>

前年度繰越金	209,960
銀行利息	96
支部支援費	100,000
合計	310,056

<支出の部>

支部活動費	0
次年度繰越金	310,056
合計	310,056

[監査報告]

監査の結果、上記収支決算は適正に収録され間違いなく支障を認めません。

平成12年12月6日

監査 前山 秀穂 (3期)

会員短信

このコーナーは、卒業生からの「このごろ」報告を短信という形で、紹介していただきたいと考えています。近況、あるいは、卒業して今どう思うか、後輩に向けて、最近仕事をしていて・・・

現時点では会員短信としか言い様のない物で、内容にこれといった決まりはありません。

(あからさまな宣伝・広告活動でなければ、なんでもOKです。)

原稿はいつでも受け付けておりますので「ほおづえ会事務局 (hozue@anet.ne.jp)」又は「内田伸先生 (utd@ishikawa-nct.ac.jp)」までお願いします。

植村 龍治 (17期 日建設計)

もうすぐ自分が担当した、建物が着工する。今現在、敷地には何も無い。これから様々な人達の力を借りての終わりのない物語が再スタートする。と、書けば格好いいのだが、裏側をちょっと覗いてみるとそこには色々な思惑やしがらみが渦巻いている。これを打破するには熱意や好奇心、知識もちろん重要だが、何事も受け入れる(直視できる)事が出来る心が必要ではないかと感じている。今のところ、会社の看板で仕事が出来るという幸運に恵まれて日々過ごさせて頂いている私ではあるが、これだけは忘れないようにしている。体力は歳と共に落ちていくが、心は永久に育てることが可能であると思う。そんな心が少しで宿するような建物を作ることが出来ればと思いつつ、製図台(いまや画面)と相対している。

黒田明子 (18期 科学技術振興事業団 文献情報部 工学系土木・建築グループ)

勤め先はそのうち統廃合されそうな特殊法人。スリルとサスペンスの毎日です(うそ)。私自身は科学技術全般のデータベース作成というものに関わっていて、幾つかの分野のうち建築に関する論文や雑誌記事を読んだり抄録を作り、キーワードを付ける仕事をしています。たまに高専の先生の記事を処理することがあり、昔を懐かしんだりします。研究動向を調べることもあります。学生の延長のような仕事で脳味噌が疲れます。就職してからは空間をつくりだす「建築」と少し距離を置くようになってしまい、楽しいことが減った気がします。改めたいです。最近カフェが流行りで居心地の良い空間で過ごすことをたくさんの人が楽しむようになっていようですが、私の周りには建築とか空間とかに注意を払う人はあまりいません(最初はすごい衝撃でした)。デザインはいったいどこまで力を持つのだろう、と、仕事が煮詰まると考えます。考えるだけで手は動きません。自戒。

野澤 隆秀 (14期) 独立へ向けて

みなさま、ご無沙汰しております。高専卒業後、豊橋技科大へ進学し4年、その後ロンドンのAAスクールへ3年、再び技科大へもどり助手を5年勤めました。高専時代から数えれば、なんと17年も建築の教育環境にいたこととなります。しかし、今年の9月からは設計活動に専念しようと考え、大学を辞職し、同期の野村君等のお力添えのもと、独立のための準備に取りかかっています。そんな中、最近、自分で設計した最初の住宅が現実のものとなりました。ほぼ基本設計のみの設計だったので、思うようにいかなかった所も多々ありましたが(例えば、現場では理論と実践の間に直接の関係を持たせることがいかに難しいかを実感しました)、完成した時には、どんなコンペで賞をとった時よりも充実した喜びがありました。

17年の下積みをもだにしないよう、よい建築をつくっていきたいと思っておりますので、みなさま、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

高橋 敏三 (15期 (株)設計事務所ゲンプラン東京事務所)

数年前にお茶室の設計をしました。5年生の意匠特論で榊田先生の授業以来お茶室には大変興味がありました。しかし、それ以上の知識はなく、人の動きお道具の役割など全く分からなく、これを機に茶道を習い始め、お茶室の設計と共に茶道の知識と、喜びを得ました。

また最近、共同住宅を設計し、竣工検査があり自ら完成した地中ピットを見る機会がありました。地中梁に450径の人通孔を設けたのですが、そこを潜る大変さを身をもって体験し、自分がいかに寸法を知らないかを知りました。

共に自ら実行して得た貴重な経験であります。この経験が設計者を成熟させ洗練させるのではないのでしょうか。

1. 全国高専建築シンポ・コンペ2000の結果報告

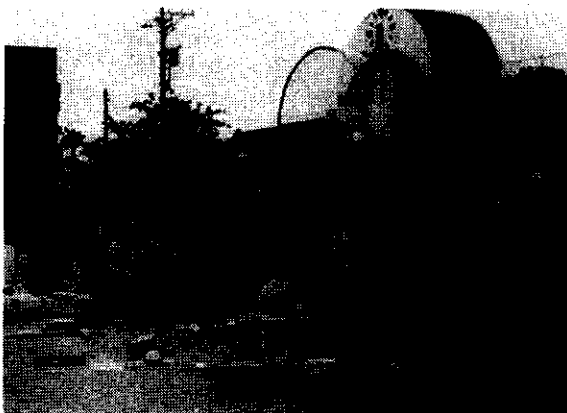
前号で紹介させて頂いた全国高専建築シンポ・コンペは、予定通りに9月1日/2日に行われました。開催当日、スコールのような雨に見舞われましたが、なんとか無事終了することが出来ました。(ほおづえ会からもご支援頂きありがとうございました)

総応募作品162作品の中から、7月に行われた1次審査で選出された15作品が、当日津幡町のふれあい広場(スカール前)で公開制作された後、小嶋一浩先生(C+A)による公開審査が行われました。結果として最優秀賞1点に、「街中の階段(呉)」、優秀賞2点に「カンアート(石川)」「堆肥箱(米子)」が選出されました。

また翌日行われた町民投票では、同じく「カンアート」「街中の階段」の他に「サクセスボックス(石川)」「リサイクルBOX(呉)」「座(徳山)」が優秀賞として選ばれました。小さな規模(2m×2m×2m)であっても、実物制作は多くを学ぶ好機となりました。またコンペと併せて津幡町弘願寺にて開催したシンポジウムでは、参加した11高専から、それぞれの市町の現状と各高専のまちづくりへの提案、取り組みが報告されました。ちなみに完成作品の内、2作品に対して津幡町在住の方から譲っていただきたいとの申し出があり、今も大切に使用して頂いています。

企画テーマであった、地域との関わり、モノづくり教育にとどまらず、これからの高専、地域、教育環境を考えるよい機会となりました。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.ishikawa-net.ac.jp/lab/A/www/sympo/sympo.html>



2. 校舎増築報告

前号と同じアングルで画像を掲載しました。既にコンクリートの躯体工事は終了したようです。

通学路からは、丘の上にそびえ立つ学校になりそうです。既に駅から歩くと、非常に目立ちます。しかし、この校舎よりもさらに先に建設予定の専攻科棟が出来れば、さらに・・・。だったらカッコヨクそびえ立って欲しいな、と思いながら眺めています。



3. 学内人事情報

北田先生、博士論文「地盤液状化による直接基礎の沈下量低減に関する基礎的研究」を提出、平成12年度3月に博士号取得。石渡先生、在外研究先のロンドン大学(UCL)より無事帰国。船戸先生、本年度10月1日より助教授に就任。

ほおづえ会からのお知らせ

1. 支部情報

中部支部：現在、山本進一氏(2期)を中心に支部設立準備が進められています。

関西支部：現在、井口秀栄氏(2期)を中心に支部設立準備が進められています。
関西地区にお住まいの方で、支部設立準備のお手伝いをしていただける人を、募集中です。

連絡先：TEL:06-6831-0564 (井口 秀栄)

北陸支部事務局：〒932-0833 富山県小矢部市綾子168 (榑吉田組内)

TEL / FAX:076-492-7463 E-mail:hozuekai@anet.ne.jp

事務局長：富樫 吉規(20期)

関東支部事務局：〒105-0013東京都港区浜松町1-11-6 あずまビル4階 (榑ツツキ東京支店内)

TEL:03-5470-1941 FAX:03-5470-1946

事務局：宮本 進治(10期)・竹内 伸好(13期)

2. 住所変更の届け出のお願い

住所・勤務先等の変更があった会員は、ご面倒でも下記事務局までご連絡ください。

3. 会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員のみなさまの会費によって運営されています。

平成12年度会費の納入にご協力お願いいたします。

4. 原稿募集

会員のみなさまより原稿を募集しております。近況報告・ニュース・ご意見等テーマは、問いません。下記事務局まで、郵送・FAX・E-mailにてお送りください。

編集後記

ほおづえ会のメーリングリストが夏ごろから立ち上がり、私も登録してもらいました。

しかし今のところ実験段階というか、内容そのものが模索中なのか、ほとんどメールが流れていない状況です。インターネットでも最近ではメーリングリストよりも掲示板やメールマガジンの方が勢いがあるような感じはするのですが、同窓会規模の情報交換はやはりメーリングリストの方がふさわしいと思っております。

雑談だけの場でも、形式だけが先行しても困りますが、同窓会という繋がりがネットの中でもにぎやかに行っていければ今以上に面白い会になると思うのですが。

広報委員長：山岸 学(16期)

平成12年12月1日発行

編集／発行 石川工業高等専門学校建築学科同窓会事務局

〒920-0022 石川県金沢市北安江1丁目6番27号 専門学校ESSEテクノカレッジ金沢内

TEL 076-234-3311 FAX 076-234-3432

E-mail:hozue@anet.ne.jp